

平成24年第4回安城市議会定例会請願文書表

平成24年12月3日

番 号	請 願 第 3 号	受理年月日	平成24年11月12日
件 名	生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願		
提 出 者	愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 森 谷 光 夫		
紹介議員	宮 川 金 彦 深 谷 恵 子		
付託委員会	経済福祉常任委員会		
要 旨	<p style="text-align: center;">請 願 の 趣 旨</p> <p>国は、老齢加算を廃止し、毎月の生活保護費を約2割減らしました。その結果、「食事を1日2回にした」「知り合いの葬式にも出席できない」など、人間らしい暮らしができなくなっています。</p> <p>そのうえ、厚生労働省は、社会保障審議会生活保護基準部会も開いて、年内にも生活保護基準の引き下げを決めようとしています。生活保護基準の引き下げは、利用している人たちの「健康で文化的な最低限度の生活」（憲法25条）をおびやかし、最低賃金や年金、就学援助など各種制度の切り下げにつながります。</p> <p>政府は、生活保護費の削減をしようとしています。国民生活の最低保障基準の土台をなす生活保護制度を国が責任を持って保障すべきです。</p> <p>以上の理由から、次の要望が実現するよう、地方自治法第99条の規定により、国の関係機関へ意見書を提出いただくよう、請願します。</p>		
	<p style="text-align: center;">請 願 事 項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活保護の老齢加算を復活すること。 2 生活保護基準の引き下げはしないこと。 3 生活保護費の国庫負担は現行の75%から全額国庫負担にすること。 		

平成24年第4回安城市議会定例会請願文書表

平成24年12月3日

番 号	請 願 第 4 号	受理年月日	平成24年11月12日
件 名	愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書の提出を求める請願		
提 出 者	愛知県保険医協会 理事長 荻野 高敏		
紹介議員	宮川 金彦 深谷 恵子		
付託委員会	経済福祉常任委員会		
要 旨	<p style="text-align: center;">請 願 の 趣 旨</p> <p>愛知県は、県財政の悪化を理由に、行革大綱に係る「重点改革プログラムの策定に向けた重点改革項目及び論点」に「福祉医療制度の見直し」を含めました。</p> <p>この論点では、愛知県の福祉医療制度（子ども医療、障害者医療、母子家庭等医療、高齢者医療）が縮小（一部負担金の導入や対象範囲を削減）する心配があります。</p> <p>福祉医療制度は、長年にわたり県民から喜ばれ、子ども、障害者、高齢者などのいのちと健康を支えてきた制度です。子ども医療費助成制度では、すべての市町村が県制度を大きく超えて独自の上乗せを行っています。このような現状は、県制度の水準が市町村の現状に追いついていないことを示しており、県制度は縮小でなく、存続・拡充することが求められています。</p> <p>すでに県内市町村の半数の市町村が、県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書を採択しています。</p> <p>つきましては、愛知県知事に、「福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書」を提出することを要請します。</p>		
	<p style="text-align: center;">請 願 事 項</p> <p>愛知県知事に「愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書」を提出してください。</p>		